

平成29年度 林業試験場研究課題一覧

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P		
(1) 地域の特性に応じた森林づくり及びみどり環境の充実	ア 豊かな道民生活のための森林機能の高度発揮	① 森林の公益的機能の発揮のための研究開発	人工林の保残伐がもたらす生態系サービスを大規模実証実験で明らかにする (森林総合研究所主管)	25-29	機能 G	3		
			北海道太平洋沿岸の海霧を考慮した気候的乾湿度に対する海浜樹木の環境応答	26-29	環境 G	4		
			グイマツ海岸林の密度管理図および地位指数曲線の作成	27-29	環境 G	5		
			海岸防災林の力学モデルと成長モデルを組み合わせた津波抵抗性の評価	27-30	道南支場	6		
			GISを活用した森林機能評価および区分手法の開発	27-29	機能 G	7		
			カシワ海岸林の密度管理図の作成と天然林構造を目標とした管理手法の検討	28-30	環境 G	9		
			林内機械作業による土壌・植生への攪乱とその持続性の解明 (森林総合研究所主管)	28-31	環境 G	10		
			量的・質的研究アプローチによる知的障がい者のための森林教育活動に関する研究	28-30	道東支場	11		
			十勝地域における効果的な内陸防風林更新手法の提案	29-31	環境 G	12		
			防雪林に対する除伐・枝打ちが吹雪捕捉機能に及ぼす影響	29-31	環境 G	13		
			津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開 (北総研主管)	29-31	環境 G	14		
			常呂川流域圏における人間活動と水・物質循環とのつながりの解明 (環科研主管)	29-31	機能 G	15		
			乙部町における新規蜂場開設を目指した蜜源探索に関する研究	29-31	環境 G	16		
			イ 生活環境の向上のためのみどり資源の活用	② 生物多様性に配慮した豊かな森林を保全・維持するための研究開発	森林内におけるエゾシカ捕獲のための効果的な給餌手法の確立	27-29	保護 G	17
					獣害防止ネットにおける耐積雪性に関する研究	27-30	保護 G	18
					食葉性昆虫の大規模食害による失業に対する樹木の応答—成長と木質形成への影響— (北海道大学主管)	27-29	経営 G	19
	保残伐施業が伐採直後の鳥類群集に与える影響の解明と植生変化の把握	28-31			保護 G	20		
	保残伐による森林景観の持続的管理手法の提案	28-29			保護 G	21		
	森林被害評価にもとづく日本型シカ管理体制構築に関する研究	28-31			保護 G	23		
	カラマツツバキクイムシ被害拡大抑制技術の開発	29-31			保護 G	24		
	カラマツツバキクイムシ大発生と被害拡大の要因解析による防除技術の提案	29-31			保護 G	25		
	汽水性水産資源の餌としての陸上植物の貢献度評価手法の検討	29			機能 G	26		
	小鳥の渡りルートの解明は東南アジアの環境保全への支払い意思額増加につながるか?	29-32			保護 G	27		
	③ 身近なみどり資源の活用のための研究開発	北海道ブランドとなる“たらの芽” 生産用タラノキの選抜とクローン増殖技術の開発 【農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築 (中央農試主管)】			27-31	企画 G	28	
		石炭露天掘り跡地の初期成長促進を図る木本緑化技術の向上	25-29	緑化 G	29			
		樹木内部欠陥を非破壊測定する装置の開発	27-29	緑化 G	30			
		少花粉シラカンバのブランド化に向けた特性調査	28-32	緑化 G	31			
		未知の絶滅危惧ジンチョウゲ科植物の分類学的検討と保護対策に関する研究	28-29	緑化 G	32			
		防腐薬剤処理木材を使った道路構造物の予防保全に関する研究 (林産試主管)	28-30	緑化 G	33			

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
1) 地域の特性に応じた森林づくり及びみどり環境の充実	イ 生活環境の向上のためのみどり資源の活用	③身近なみどり資源の活用のための研究開発	本道に自生するツルコケモモの栽培化に向けた遺伝資源の収集とクローン増殖技術の開発	29-31	緑化 G	34
			地域貢献を目指した地域フロアの解明	29-30	緑化 G	35
(2) 林業の健全な発展と森林資源の循環利用の推進	ア 森林資源の充実と持続的な森林経営による林業の振興	④資源管理の高度化のための研究開発	天然更新したカラマツ・トドマツ幼樹の成長を促す施業方法の開発	26-29	道東支場	36
			天然生林における単木・林分レベルの成長予測技術の高度化	28-31	経営 G	38
			UAVを用いた天然更新木の判読技術の開発	29-31	経営 G	39
			グイマツ雑種 F1 に対応した成長量と出材量の予測	29-30	経営 G	40
		⑤林業経営の持続的な発展のための研究開発	地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築（工業試主管）	26-30	経営 G	41
			道産カンバ類の高付加価値用途への技術開発（林産試主管）	27-29	経営 G	42
			カラマツ・トドマツ育苗期における環境ストレス耐性の評価	27-29	経営 G	44
			千島系・樺太系グイマツの系統的ルーツの解明と育種利用の評価	27-29	経営 G	45
			クリーンラーチ若齢採種圃の成長と着花に及ぼす施肥の効果検証	28-32	経営 G	46
			森林経営の効率化のための崩壊リスクを考慮した路網管理手法の提示	28-31	道南支場	47
			苗木需要量の増加に対応したコンテナ苗生産・植栽システムの開発	28-30	経営 G	48
			優良苗の安定供給と下刈り省力化による一貫作業システム体系の開発（森林総合研究所主管）	28-30	経営 G	49
			カラマツ種苗の安定供給のための技術開発（森林総合研究所主管）	28-30	経営 G	50
			気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス（東京大学主管）	28-31	経営 G	51
			道北地域における有用広葉樹の効率的な人工造林手法の開発	28-30	道北支場	52
グイマツ雑種 F1 の挿し木幼苗増殖技術の研究（非公開）	29-31	道北支場	-			
(3) 技術力の向上による木材関連産業の振興	ア 道産木材の需要拡大と木材関連産業の振興	⑨きのこの価値向上のための研究開発	シイタケ菌床栽培における新規材料「ヤナギ」の普及	29	企画 G	-

* 太字は29年度から始まった新規課題